

1. 日本 2. 中国 3. ノルウェー 4. アメリカ

1. 急速な経済発展を遂げているものの、農業から工業への転換期にあるため、国民総所得は中規模な水準にとどまっている。

2. 面積が小さく、特定の農作物や資源の輸出に依存しているため、国民総所得も1人あたりの貿易額も極めて低い水準にある。

3. 広大な面積と豊富な天然資源を背景に経済成長しているが、人口も多いため1人あたりの国民総所得は相対的に低くなる。

4. 面積は比較的小さいが、高度な工業製品の輸出やEU域内での活発な取引により、国民総所得や1人あたりの貿易額が非常に高い。

1. ユーロッパ連合（EU）には加盟していないが、経済的な利便性のために共通通貨のユーロを導入している。
2. ユーロッパ連合（EU）に加盟しているが、共通通貨のユーロを導入せず、独自の通貨を用いている。
3. ユーロッパ連合（EU）に加盟しており、近隣のドイツやフランスと同様に共通通貨のユーロを導入している。
4. 以前は共通通貨のユーロを導入していたが、国内の経済混乱を受けてユーロを廃止し、独自の通貨に戻した。

1. 国土の大部分にチェルノーゼムと呼ばれる肥沃な黒土が分布しており、小麦などの大規模な栽培が行われている。
2. 冷帯（亜寒帯）の厳しい気候に適したライ麦やジャガイモの栽培が、農業の大部分を占めている。
3. 地中海沿岸の温暖な気候を利用して、オリーブやブドウなどの果樹栽培が産業の中心となっている。
4. アルプス山脈からの豊富な水資源を利用した酪農や、精密機械工業が国の経済を支えている。

1. 火山の噴火によって流れ出した溶岩が海に流れ込み、冷却されて固まることで複雑な地形となった。

2. 河川の浸食によってできた複雑な谷が、地殻変動による土地の沈降によって海面下に沈んだ。

3. 石灰岩が雨水や地下水によって溶かされたことで、複雑な凹凸を持つ海岸線が形成された。

4. 氷河による強力な浸食作用によって形成された深い谷が、海面の上昇によって水没した。

1. 栽培した作物を家畜のえさとして活用し、食肉や乳製品の生産とあわせて収益の安定を図るため	2. 広大な土地で単一の作物のみを栽培し、安価な労働力を使って輸出向けの農産物を大量生産するため	3. 地中海沿岸の乾燥した気候を利用して、オリーブやぶどうなどの果樹栽培に特化するため	4. 冷涼な気候のため穀物栽培には適さず、牧草の栽培と乳牛の飼育のみに専念して都市へ乳製品を供給するため
--	--	---	--

1. 寒さに強い針葉樹を中心とした森林が広がっている

1. 地中海式農業 2. 混合農業 3. 酪農 4. プランテーション農業

1. りんご 2. うめ 3. ぶどう 4. みかん

1. 貿易風 2. シロツコ 3. 季節風（モンスーン） 4. 偏西風

1. 温暖湿潤気候 2. 地中海性気候 3. ツンドラ気候 4. 西岸海洋性気候

1. E U加盟を機に、西ヨーロッパの主要国からチェコへ熟練した労働者が大量に移住し、最新の技術を駆使した自国ブランドの生産が始まったから。
2. E U共通の経済政策によって、チェコの賃金をドイツと同じ高い水準まで引き上げる補助金が支給され、労働者の労働意欲が向上したから。
3. E U加盟によって関税が撤廃されたことで、ドイツなどの周辺諸国に比べて賃金が低いチェコに、コストを抑えたい外国企業の工場進出が進んだから。
4. E U加盟国間で独自の高い関税を設定したことで、域外からの安価な自動車の流入が阻止され、チェコ国内の自動車メーカーが保護されたから。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 ノルウェー	ノルウェーは人口約530万人と、比較対象の国々の中で最小規模ですが、2017年時点の電気自動車の保有台数は約17万6千台に達しています。これを人口一人あたりで換算すると、電気自動車の普及が急速に進んでいる中国や、市場規模の大きいアメリカ・日本を大きく引き離す普及率となります。北欧諸国では環境対策として、電気自動車の購入に対する税制優遇などの強力な政策がとられていることが背景にあります。
問2	答え 4 面積は比較的小さいが、高度な工業製品の輸出やEU域内での活発な取引により、国民総所得や1人あたりの貿易額が非常に高い。	イタリアなどのヨーロッパ諸国は、限られた国土面積の中で付加価値の高い工業製品（ブランド品、自動車、精密機械など）を生産し、輸出しています。特にEU（欧州連合）という共通市場の中で関税なしに活発な貿易が行われるため、1人あたりの貿易額が非常に大きくなる傾向があります。他の選択肢は、広大な国土を持つ新興国（ブラジルやインド）や、発展途上にあるモノカルチャー経済の国（ガーナなど）の説明に該当します。
問3	答え 2 ヨーロッパ連合（EU）に加盟しているが、共通通貨のユーロを導入せず、独自の通貨を用いている。	ヨーロッパ連合（EU）の加盟国は、経済的な統合を深めるために共通通貨「ユーロ」の導入を進めています。すべての加盟国が導入しているわけではありません。スウェーデンは1995年にEUに加盟したものの、国民投票の結果や経済政策の判断に基づき、現在も自国通貨であるスウェーデン・クローナを使用し続けています。このように、EU加盟国でありながらユーロを導入していない国は他にもデンマークなどが存在します。
問4	答え 1 国土の大部分にチェルノーゼムと呼ばれる肥沃な黒土が分布しており、小麦などの大規模な栽培が行われている。	ウクライナは黒海の北側に位置し、世界有数の肥沃な土壌である「チェルノーゼム（黒土）」が広範囲に分布しています。この恵まれた自然条件を背景に、小麦、トウモロコシ、ヒマワリなどの栽培が極めて盛んであり、「ヨーロッパのパン籠」と呼ばれるほど高い農業生産額を誇っています。他の選択肢にある地中海式農業（果樹栽培）や酪農などは、南欧や西欧の特徴です。
問5	答え 4 氷河による強力な浸食作用によって形成された深い谷が、海面の上昇によって水没した。	フィヨルドの形成には「氷河による浸食」と「海面の上昇（または土地の沈降）」の2つのステップが不可欠です。氷河が削った谷は底が深く壁が垂直に近いU字形になるため、海水が入り込んだ後も水深が深く、大型客船が接岸しやすいなどの特徴を持ちます。これに対し、川が削ったV字谷が沈水してできるのはリアス海岸（三陸海岸など）であり、成因が異なります。
問6	答え 1 栽培した作物を家畜のえさとして活用し、食肉や乳製品の生産とあわせて収益の安定を図るため	混合農業は、農場内で生産した飼料を家畜に与え、家畜の排せつ物を肥料として畑に戻すといった循環的な側面を持ちます。単一の作物に頼るのではなく、穀物販売と畜産を組み合わせることで、気候変動や市場価格の変動による経営リスクを分散し、安定した農業経営を行うことが目的です。
問7	答え 1 寒さに強い針葉樹を中心とした森林が広がっている	タイガは冬の寒さが厳しい環境に適応した、マツやモミなどの針葉樹林によって形成される。乾燥した草原は「ステップ」、コケ類が生えるのは「ツンドラ」、広葉樹と針葉樹が混在するのは「混合林」の特徴である。
問8	答え 3 酪農	北海や大西洋沿岸、アルプス山脈周辺などの冷涼な地域では、食用穀物の大規模な栽培が難しいため、牧草を育てて乳牛を飼育する農業が発達しました。生産された生乳は、保存性の高いバターやチーズなどの乳製品に加工され、消費の多い都市部へ出荷されています。これは、気候や地形といった自然環境に応じた適地適作の一例です。
問9	答え 4 みかん	日本の果樹農業において、愛媛県や和歌山県は柑橘類の栽培に適した温暖な気候条件を備えています。統計データでこれらの県が高い割合を占めている場合、それは柑橘類の代表である「みかん」を指します。対照的に、選択肢にある「りんご」は長野県や青森県などの冷涼な地域、「ぶどう」は山梨県や長野県、岡山県などで生産が盛んなため、生産割合の分布から正解を導き出すことができます。
問10	答え 4 偏西風	ヨーロッパ北西部の気候は、高緯度であるにもかかわらず、暖流である北大西洋海流の上空を吹き抜けてくる「偏西風」の影響を強く受けています。この風が大西洋からの温かく湿った空気を陸地へ運び込むため、西岸海洋性気候と呼ばれる温暖な気候が形成されます。
問11	答え 4 西岸海洋性気候	ヨーロッパ西部（イギリスなど）では、暖流である北大西洋海流と偏西風の影響を受けています。そのため、年間を通して月平均気温や月降水量のリズムが穏やかな西岸海洋性気候が広がっています。
問12	答え 3 EU加盟によって関税が撤廃されたことで、ドイツなどの周辺諸国に比べて賃金が低いチェコに、コストを抑えたい外国企業の工場進出が進んだから。	欧州連合（EU）の加盟国間では関税が撤廃されるため、モノの移動が自由になります。チェコはドイツなどの西ヨーロッパ諸国と比較して賃金が低いため、生産コストを抑えたい外国企業が積極的に工場を建設しました。これにより、加盟後に自動車などの工業生産が急増し、経済が活性化しました。地理的な近接性と低賃金、そして関税の撤廃という条件が組み合わさった結果です。